



教育センター・育成センター所報

# GALILEI



松雲山荘の紅葉

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット(カラー)版は  
「柏崎市教育情報支援システム」  
を検索し、トップ画面右上の所報  
「GALILEI」をクリックすると閲覧  
できます。

平成 23 年 11 月号

柏崎市立教育センター  
柏崎市青少年育成センター



## ワクワクする心



教育センター運営委員  
柏崎市立半田小学校  
校長 和田 英史

小学生のころ友だちと鉱石ラジオのキットを作ったことがあります。配線を終えスイッチを入れました。イヤホンからかすかに人の声が聞こえてきた時の感動を今でも忘れることができません。これが私がラジオに興味を持ちはじめたきっかけでした。

次にトランジスターラジオのキットを作りました。回路に部品をハンダ付けします。製作の過程も楽しいのですが、一番ときどきするのは最初にスイッチを入れる瞬間でした。「カチッ」という音と共に、音楽やアナウンサーの音が流れてきた時の感激は格別でした。

中学生になり、よくラジオ番組を聴くようになりました。聴いているだけでは物足りなくなり、リクエスト番組に葉書を出しました。葉書が読まれ、曲が流れてきたときの嬉しさは、今でも忘れられません。

高校時代は、受験勉強にかこつけて深夜放送を聞いていました。夜になると電波は遠くまで届きます。電波状態が良いときには、北海道から九州の放送まで受信することができました。ダイヤルを少しずつ回しながら、スピーカーに耳を近づけて聴いた時のワクワク感を懐かしく思い出します。

あれから30年以上が過ぎました。ラジオを取り巻く環境も大きく変わりました。テレビやインターネットに押され、存続の危機とまで言われるようになりました。

一方、アナログからデジタルの時代となり、周波数の数字を合わせるだけで、目的の放送局が直に選択できるようになりました。また、今はパソコンでラジオ放送を聴くことができます。NHKも9月1日から、インターネットによるラジオ放送の配信をはじめました。世界中のどこからでも、雑音の無いきれいな放送を聴くことができます。本当に便利な時代になりました。

恵まれた環境の中で聞く今のラジオに、あの頃のワクワク感はありません。技術が進歩し便利になった現代は、子どもたちにワクワクするような体験をさせることが難しい時代になってしまったのかも知れません。今だからこそできる感動体験とは何かを私たちは子どもたちから学ぶ必要があるのではないのでしょうか。

## 子どもを引きつける授業 ～専門研修講座の様子から～

9月に実施した講座の中から、「算数・数学科授業改善」「総合的な学習の時間」「同和教育授業改善」「国語科授業改善」の講座の様子についてお伝えします。

講師先生はじめ、受講されたみなさんのお陰で、とても充実した研修を行うことができましたこと感謝申し上げます。

### 9月13日(火) 算数・数学科授業改善 柏崎市立教育センター指導主事 矢沢 欣也

#### 講座の様子

算数・数学科における新しい評価のポイントとして、「筋道立てて考え表現し、そのことから考えを深める」ことが強調されています。この講座では、数学的な考え方としての表現活動に焦点をあて、数学的に考える力を育成することの大切さと手立てについて研修しました。知識、技能の偏重でなく、4観点の力がバランスよく育まれていく授業実践に結びつけられればと願います。



#### 受講者の感想から

新学習指導要領の「考え方」と「技能」の評価の違いや、その評価からの授業づくり、授業のポイントなど、これからの授業改善に生かしたいです。今までの自分の授業を振り返ると、技能の習得がメインであったように見え、子どもの考えがあまり出ない授業だったように思えます。もう一度、自分の授業を見つめ直し、改善し、よりよい授業づくりに努めたいと思います。ありがとうございました。

### 9月15日(木) 子どもが本気になる総合学習 上越教育大学准教授 松井千鶴子 様

#### ■ 講座の様子

総合的な学習の時間における探究的な学びが繰り返し高まっていくためのポイントについて具体的に研修しました。講師の上越教育大学准教授の松井千鶴子先生から、たくさん実践例と丁寧な解説をいただき理解を深めることができました。今後の各校の実践に大いに役立つ研修であったと考えます。



#### ■ 受講者の感想から

現行の指導要領の改訂のポイントのお話では 課題の設定 情報の収集 整理・分析 まとめ・表現の内容、目指すところをたいへんわかりやすく解説していただき、今までの総合で大まかに捉えていたところの意味がわかりました。1 単位時間として総合を捉えるのは新しい視点であり、これから意識していきたいと思いました。後半、多くの実践例をご紹介いただきましたが、今当校で進めている総合と比較しながら興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。

## ■ 講座の様子

同和教育は、教師自らが正しい理解、確かな人権感覚と実践力を養っていかねばなりません。今年度は、白鳥美智子先生を講師に迎え、同和学习の授業のあり方、大切にしなければいけない視点について研修しました。

資料の工夫や有効活用など、たくさんの授業例を提示していただき、今後の授業改善や指導力の向上に結びつく研修でした。



## ■ 受講者の感想から

白鳥先生が紹介して下さった板書資料は、インパクトがあり、ぐっとひきつけられるものがありました。同和教育というと、どうしても暗くなってしまいがちなイメージがありますが、今日の先生のように、絵やセリフ、短冊等の資料を活用し、子どもたちをひきつけ、一緒になって考えていきたいと思いました。

たくさんの授業資料を基に研修を受けることができたことに感謝しております。自分自身が授業をするときの切り替えしの発問が、なかなか差別の本質、問題の本質に迫れず、「自分ごと」とできないで終わった授業がたくさんあります。自分の憤りが足りないという部分に痛感しました。「正しいことを学ぶ、いろんな方に出会うこと」が私に欠けている部分です。この研修を大切に、同和教育の主任として、他の職員にも呼びかけながら共に考えていきたいと思ひます。

## ■ 講座の様子

今年度2回目の国語科における教科指導法の講座でした。中越教育事務所から赤澤厚史指導主事を講師に迎え、Web 配信集計システムや全国学力学習状況調査等の結果から見える実態を踏まえた授業改善のポイントについて、具体的に示していただきました。

部分を部分の中で考えているだけでは、本当の理解につながらないこと、教えることをしっかりと教え使えるようにしてやるには、授業者自身が教えること、考えさせることをしっかりと捉えていなければならないこと等、各種のデータや具体例を提示していただき理解を深めることができました。



## ■ 受講者の感想から

「子どもの現状がわからなければ授業改善はできない」という言葉が心に残りました。自校の実態分析はきちんとやってきたつもりですが、本当に子どもの現状がわかっていたのかと自問してみると、はっきり答えられない自分に気づきました。もう一度、子どもの実態を捉え直して、授業改善を確かなものにしたいという意欲が高まりました。

たいへん勉強になりました。学力向上というと自分はすぐに方法論に意識が向いてしまいます。その前に「今、目の前の子どもがどういう様子、状況なのか、しっかりと把握する」ことの大切さを再認識することができました。また、授業づくりのポイントは、たいへん参考になりました。「どの発問、問題を単元のメインとするのか」単元づくりのヒントをいただきました。最後の「させていないから、できないのでは」という言葉を大切にしたいと思ひます。子どもの力を大切にし、引き出していけるように、取組を進めていきたいと思ひます。ありがとうございました。

## ■ 柏崎教育情報支援システム情報

### 講習会のテキスト・資料を登録しました

実施日	講座名／資料名
10/19	114_長尺印刷入門 長尺印刷入門.pdf (テキスト第9版) 利用手順フローPXF8000.pdf (長尺、拡大印刷、拡大コピー3種類の処理の流れ)
11/8	125_スクールオフィス行事管理講習 NO8_行事管理講習.pdf (テキスト第3.1版) 行事管理のポイント.pdf (休日の授業日、平日の代休、学校・学級閉鎖などの扱い) 行事予定の出力サンプル.pdf (登録した行事が反映される帳票のサンプル) 年間予定表変換_スクールオフィス対応.xls (過去の教育センター研修で提供していた年間行事予定表をスクールオフィス形式に変換するためのマクロ) 汎用行事予定変換マクロ.xls (学校で独自に作成した年間行事予定表をスクールオフィス形式に変換するためのマクロ)

スクールオフィス関係のテキストについては同じものが教育センターコンテンツサーバにも登録されています。

## ■ スクールオフィス情報

### 学校閉鎖、学年閉鎖、学級閉鎖発生した場合の行事登録

#### (1) 学校閉鎖、学年閉鎖が発生した場合の登録

##### ①(時数管理を利用している場合のみ) 週案の授業カードのクリア

- ・週案の作成画面で、閉鎖となる日に授業カードが設定され、確定で時数が累計されてしまっている場合は、一旦確定を解除して、授業カードをクリアする必要があります。

##### ②行事の登録

- ・「学校行事の設定」画面から、学校行事または学年行事として閉鎖情報(「〇〇による学校閉鎖」など)を登録する。このとき、「時間」の欄は必ず「指定なし」に、「休み区分」を「休業日」にすること。

#### (2) 学級閉鎖が発生した場合の登録

##### ①(時数管理を利用している場合のみ) 週案の授業カードのクリア

- ・週案の作成画面で、閉鎖となる日に授業カードが設定され、確定で時数が累計されてしまっている場合は、一旦確定を解除して、授業カードをクリアする必要があります。

##### ②行事の登録

- ・必須ではありませんが、どのクラスが閉鎖になっているかがわかるように、「学校行事の設定」画面から、クラス行事として閉鎖情報(「〇〇による学級閉鎖」など)を登録する。このとき、「休み区分」を「設定なし」にすること。

##### ③健康観察の登録

- ・健管理の健康観察記録の「登録」画面から、当該クラスの全員を出席停止扱いとします。(「停・忌・公欠」をクリックして理由を選択します。なお、罹患者との区別は、健康観察記録のマスターで「停・忌・公欠」の名称と記号を区別できるように登録しておけば、「月別健康観察表」で確認することが可能です。出力される出席簿上では区別はできません。)

## 情報関連講習会のご案内

### 12月に実施される講習会

#### ◆H23.12.15(木) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その7

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。前日までにメールや電話で相談内容をご連絡頂ければ、内容に応じた準備をさせていただきます。

#### ◆H23.12.26(月) デジタルビデオ編集入門

WindowsXP 標準のムービーメーカーを使って、miniDV カメラからのビデオ映像の取込・編集と、テープやDVD への出力手順について学習します(ただし、DVD への出力などの一部の作業については、視聴覚ライブラリに用意されている機器やソフトウェアでの作業となります。各自がお持ちの環境で同じことができるとは限りませんので、ご了承ください)。パソコンを使用したビデオの編集や、編集した映像を DVD にする方法などについて興味のある方や、以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。



デジタルビデオ編集の流れ、miniDV、IEEE1394、コンポジット、S-Video、ビデオキャプチャ、DV-AVI 形式、WMV 形式、クリップの分割、クリップのトリミング、切り替え効果、特殊効果、静止画の利用、タイトルの挿入、クレジットの挿入、サウンドの追加、ビデオの出力、DVD の作成

以下は、年度当初の講座一覧にはなかった講習会です(別途案内が発送されています)

#### ◆H23.12.1(火) スクールオフィスによる指導要録様式2の作成講習会 I (設定編)

スクールオフィスの成績管理システムによる指導要録の様式2の作成について、あらかじめ行っておく必要のある設定について学習します。その場で設定を完了させる予定ですので、設定に必要な情報を持参していただく必要があります。詳細は別途発送されている通知をご覧ください。

#### ◆H23.12.16(金) スクールオフィスによる指導要録様式2の作成講習会 II (作成編)

スクールオフィスの成績管理システムによる指導要録の様式2の作成・出力手順について学習します。

## セキュリティ情報

### セキュリティアップデート情報

マイクロソフトより、11月9日付で11月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくようお願いします。

No.	更新の内容	対象	深刻度
1	<b>MS11-083 Microsoft Windows の脆弱性に対処</b> TCP/IP の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2588516)	Windows Vista, 7, 2008Server	<b>緊急</b>
2	<b>MS11-084 Microsoft Windows の脆弱性に対処</b> Windows カーネルモード ドライバーの脆弱性により、サービス拒否が起こる (2617657)	Windows 7, 2008Server	<b>警告</b>
3	<b>MS11-085 Microsoft Windows の脆弱性に対処</b> Windows メールおよび Windows ミーティング スペースの脆弱性により、リモートでコードが実行される (2620704)	Windows Vista, 7, 2008Server	<b>重要</b>
4	<b>MS11-086 Microsoft Windows の脆弱性に対処</b> Active Directory の脆弱性により、特権が昇格される (2630837)	Windows XP, Vista, 7, 2003Server, 2008Server	<b>重要</b>

**注意 警告 重要 緊急** は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

# プロジェクト K

平成23年11月25日  
(科学技術教育センターだより)

## 来場ありがとうございました！ 青少年のための科学の祭典2011 青少年のための科学の祭典2011 柏崎刈羽大会（秋）

11月19日（土）に新潟工科大学で「青少年のための科学の祭典」を開催しました。工科大の学祭とタイアップした春の大会とは異なり、単独開催ではありましたが800人も来場者を迎えることができました。

今回は、柏崎工業高校や柏崎高校や、新作ブース「大地の神秘～塩の結晶を取り出そう～」 「人間発電所！」も登場しました。

今回の祭典では、一人当たりの滞在時間の長さが特徴的でした。じっくり、ゆっくり、科学の不思議に触れることで、子どもたちの心の中に「ふしぎだね」をたくさん蒔くことができたのではないかと思います。「(レシピをみながら)家でも試してみよう」という子どもの顔がとても印象的でした。これからの生活の中でのびのびと育ててほしいと思います。

来年度も科学の祭典を実施する予定です。ぜひ、いろいろな先生方にスタッフとして参加していただきたいと思います。ちょっとした時間にできる科学工作ネタを入手するだけでなく、普段の学校で見せている顔とは一味違う子どもたちの顔を見ることができます。ふるってご参加ください。



## おめでとうございます！ いきいきわくわく科学賞2011 いきいきわくわく科学賞2011 柏刈地区からも2作品入賞！

11月16日（水）に最終審査が行われ、17日に審査結果が発表されました。柏崎刈羽地区からも12作品の応募がありました。そのうち南雲 恭さん（二中）と室星拓翔さん（刈羽中）の作品が優秀賞に選ばれました。

また、いきいきわくわく科学賞2011に出品された作品をまとめた「わたしたちの科学研究」第47集も発行されます。上位入賞作品の研究や全応募作品のテーマ・研究者一覧などが掲載されています。来年の科学研究のみならず、科学クラブや選択理科、総合的な学習のヒントになる研究が多数あります。今年も注文をセンターでとりまとめます。多くのご注文をお待ちしております。

## 研修会・事業の一コマ . . . 研修会の様子&参加者の声など . . .

### 小学校生活科「あきのおそび」(10月19日実施)

内 容 クヌギやコナラ、ミズナラなどのどんぐりや松ぼっくり、草木の葉を使って遊ぶものを作りました。自然の中には少し工夫すると、みんなで楽しめるものがたくさんあることや、何種類かの草木の実や葉を見て季節の変化を感じ取られたことと思います。子どもに返った気分でものづくりをしながらも、指導する上で気を付けなければならないことは、



しっかりと掴まれたのではないのでしょうか。

### 小学校4学年「ものの体積と温度」(11月8日実施)

内 容 温度の変化によって体積が変化することを視覚的にとらえることができる教材について、予備実験を兼ねて実習しました。フラスコにつけたシャボン玉液が膨らむ理由を上昇説から膨張説へ転換させることを意識しながら、単元を進めていくことが有効です。



### 要請研修「地層観察」(11月4日実施)

会 場 聖ヶ鼻～米山海岸

内 容 聖ヶ鼻と米山海岸の2ヶ所で地層を観察しました。聖ヶ鼻では、地層は砂や泥が積み重なってできていることや広がりがあることを実感しました。また、米山海岸では、聖ヶ鼻で見られた地層の他に、礫岩層や凝灰岩層、火山活動によりできた岩石を見たり、手で触ったりしました。それぞれの地層の違いに気付くことができたことと思います。最後に、グループ毎に海岸の砂で堆積実験を行い、地層のでき方を学びました。「大地のつくりと変化」の現地学習に適した場所の1つです。



### 要請研修「科学実験教室」(11月15日実施)

会 場 剣野小学校

内 容 「空気の流れ」をテーマに実験教室を行いました。まずはサーキュレーター(送風機)やブロワを使って物を浮かべる実験を行いました。その後同じ仕組みを利用した「吹きだま」や吹いているのにくっついてくる「タービンごま」の工作も行いました。簡単な工作でしたが、時間を忘れて夢中になって楽しむことが出来ました。どちらも夢中になりすぎると「くらくら」してきます。酸欠にご用心!



### 第50回上越地区教職員理科研究発表会(11月2日実施)

会 場 フォッサマグナミュージアム

内 容 上越科学技術教育研究会主催の教職員理科発表会が行われました。授業実践部門と教材開発部門について発表がありました。授業の進め方に困ったら、いろいろな先生方の実践を参考にするのもよいと思います。センターでも過去の発表要項を保管しておりますので、どうぞご利用ください。なお、柏崎刈羽地区でも1月13日に研究発表会を行います。たくさんのご参加をお待ちしております。

## 紹介します！おススメ教材！ ・ ・ものづくりセット ・ ・

(センターの教材は貸し出し可能です。どうぞご利用ください。)

寒い季節に入り、室内での活動が多くなってきます。こんな時こそ、ものづくりはいかがですか？センターでは、科学の祭典で使用した道具をセットでお貸しすることができます。(消耗品等は、各学校でご準備ください。)また、材料や作り方など、不明な点はお気軽にお問い合わせください。貸し出しを希望される方は、科学技術教育センター(20-0212)にご連絡ください。

センターの教材については、貸し出し期間は原則1週間です。ほかに予約が入っていないければ延長することも可能です(要電話連絡)

### スライムセット(ポンプ de スライム)

PVAのりに水と飽和ほう砂水でスライムをつくることができます。青少年の科学の祭典では、短時間でたくさんのスライムをつくることできるように、シャンプーなどの詰め替えボトルを利用してスライム作りを行っています。計量カップの線までのり水を入れたら、ほう砂水をポンプで一押し！計量を簡単にすることで、作業台の汚れ方も少なくなりました。

### トコトコ馬(型紙)

ケント紙や工作用紙に印刷して使います。線に沿って切ったり折ったりするだけで作ることができます。トコトコ馬を斜面上に乗せると、勝手にトコトコ歩き始めます。摩擦を利用したおもちゃです。簡単な作りのおもちゃですが、足先におもりをつけたり、足の長さや幅のバランスを変えたりすると、歩き方も変わってきます。次の科学研究のネタにもいかがですか？

### 折染めセット

同じ折り方で、同じ色の組み合わせで染めても、二つと同じ作品はできません。短時間で作品は出来上がるのですが、準備がちょっと大変なのが珠にキズ。セットの中には色水とシャーレ、机の上に敷くシートがセットになっていますので、障子紙の準備だけですぐに始めることができます。

## 12月の行事予定(研修会など)

### 上越の理科を語る会

日 時 12月4日(土) 14:00~16:10

会 場 高陽荘

内 容 上越教育大学講師 谷 友和先生からご講演いただきます。

演 題 「北国の林床植物の生き方を探る」

大勢の皆様からの参加をお待ちしています。

(参加申し込みは、教育センター 科学まで)

### 小学校6学年「電気の利用」

日 時 12月14日(水) 15:00~16:45

内 容 電気の利用(発電・蓄電・変換)に関する研修会です。教材作りと展開のポイントについて研修し、授業に備えましょう。手回し発電機とコンデンサーの組み合わせ方についても考えてみましょう。

### 小学校3学年「じしゃくのひみつ」

日 時 12月26日(月) 15:00~16:45

内 容 磁石につくもの・つかないものを調べる実験や、磁石そのものの不思議を体験する実験などを通して、磁石の性質についての見方や考え方を養い、実感を伴った理解を促す指導についての研修です。

# 心の窓

No.147

〒945-0833 柏崎市若葉町2-31

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

## ふれあいルームから

### 電車に乗って～陶芸教室

芸術の秋です。ふれあいルームでは、毎年この時期に上下浜の陶芸家石井先生の工房へお邪魔して、陶芸教室を体験させていただいています。通級生にとっては券売機で切符を買って、電車に乗ることもちょっとした冒険です。工房に着いたらみなでご挨拶です。もう10年以上もふれあいルームはお世話になっています。今年も石井先生と奥様があたたかく迎えてくださいました。



作り方の説明を受けて、いよいよ作り始めました。みんな粘土の感触を楽しみながら、思い思いに形を整えていきます。わからない所や上手くできない所は先生に聞きます。「わからなかったら聞く」ということは生きていく上で大切なスキルです。でもちょっと勇気が必要なのです。いつもより少し緊張感のある環境で、そういう大事な練習もさせていただきました。

夢中で作るうちに、お皿やカップ、壁掛けなどが出来上がっていきます。時間があっという間に過ぎて、お昼になりました。石井先生がビニールシートを敷いてくださり、きもちの良い秋晴れの空の下、みんなで輪になってお弁当を食べることができました。



今回は成形のみで、後日色付けや窯出しにもお伺いし、完成を見ることができます。どんな作品が出来てくるか、今からみんな楽しみにしています。

(文責 ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法)



## 教育相談班 12月の予定

### 《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ(SST)

- 2日(金)16:30～17:30 小学生 Aグループ
- 9日(金)16:30～17:30 小学生 Bグループ
- 16日(金)16:30～17:30 小学生 Cグループ
- 21日(水)18:30～20:00 中学生第1グループ
- 22日(木)18:30～20:00 中学生第2グループ



### 《ふれあいルーム》

- 2日(金) 保護者会
- 7日(水) ソフィアセンター
- 8日(木) スケート体験
- 中旬 そば打ち体験
- 22日(木) 後期前半通級終了日

## 小さな楽しみ

教育相談班

臨床心理士 矢嶋郁代

先日、友人に誘われて、人生初のリレーマラソンに参加しました。「1人で走るわけじゃないし、大丈夫だろう！」と思って、気楽にOKしたのですが・・・！！後ほど、「2kmも走る」という事実を知り、サーッと一気に青ざめたのでした。それからというもの、メンバーの顔を見るたびに、「私、走れないかも・・・」「他の人に、代わって欲しい」等、弱音ばかり吐いていました。普段、カウンセラーとして、子どもたちに「苦手なことも、頑張ってみよう」と励ましている立場なのに……。とほほ……。練習のため、メンバーに誘われて競技場等に走りに行くようになりました。「よーい、ドン！」で他の人と一緒に走り始めたはずなのに、あっという間にその人たちの背中が見えなくなり……。「これも、ある意味、独走状態！？」なんて笑っていたのもつかの間。どんどん広がっていく差に、1人悲しくなるのでした。でも、他の4人のメンバーの明るく楽しい雰囲気助けられ、棄権することなく当日を迎えることができました。リレーマラソンの当日、少し雨が降りましたが、応援に来ていた地域の方々の声援に励まされ、楽しく元気に走ることができました。あれから数週間、私は今も、ランニングマシーンの上で走っています。スピードが遅いのは相変わらずですが、運動するのが気持ち良くて、時間を見つけては走りに行っています。弱音を吐きながら始めたランニングですが、生活の中の、小さな楽しみとして続けていきたいと思います。皆さんも、自分の中の「小さな楽しみ」ありますか？

## EMCL?

教育相談班

指導員 渡辺仁平

「足が細くなったね。」家内にいわれた。若い女性ならば喜ぶべきところである。トレーニングをして筋肉が締まったわけではない。太り過ぎに気をつけ、食べるのを我慢していたわけでもない。アルコールもほどほどに飲んでた。思い当たる節がない。どうしてかなと聞いてみると、あっさり「筋肉が落ちてきたんでしょ。」・・・納得である。

テレビの番組で「EMCLが筋肉内に増えると、筋肉がたるんでくる。」というのがあった。EMCL?初めて聞く言葉だ。西城秀樹のYMCAではない。たるみが気になる私としては、興味をもって放送を見た。EMCLとは、“筋細胞外脂肪”というもので、これが筋肉の隙間に入り込むと、筋繊維の収縮を妨げ、たるんでくるというのである。運動しないとこれが増え、減らすには運動すること。運動前と運動後の映像が流され、視聴者にたるみ解消の期待感を持たせていた。

最近、携帯電話を買った。といっても今話題のスマートフォンや 아이폰のような多機能携帯電話ではなく、年相応のごく簡単に操作できる携帯電話である。今までは机の上に乗っていることが多く、ほとんど携帯しない携帯電話だった。しかし、今回の携帯電話には、歩数計がついている。(ようし、これからはこれを携帯し、歩数計とにらめっこしながらEMCLを減らすぞ!)とひそかに気合を入れているこのごろである。

平成23年度 月間予定表

12月

柏崎市立教育センター

####

日	曜	研修・行事・会議	内部事務▼・出張等	関係事業・施設貸出等
1	木	情・スクールオフィス指導要録（設定編）15：00～16：45	▼所内会議 13：00	
2	金	相・いろいろ体験G小A ふ・保護者会18：00～	学校訪問（榎原小；小林）9：30～ 柏崎小研究発表会（中山・矢沢）13：00～	
3	土			
4	日	科・上科技理科を語る会（高陽荘）		
5	月			
6	火		教委課長会議（所長）13：30～	
7	水	ふ・ソフィアセンター 研・算数・数学授業改善講座		
8	木	ふ・スケート教室① 情・学校事務研修2	キッズサポート（北鯖石保；小林）9：30～	
9	金	科・県地区セン所員研修会 相・いろいろ体験G小B	聖籠中研究発表会（矢沢）10：45～	育・昼間育成（16：00～18：00）
10	土	科・いきわく表彰式		
11	日			
12	月		学校訪問（榎原小；小林）9：30～	スクールサポート事後研修会（14：30～多目）
13	火	研・子どもも教師も元気になる授業づくり（荒浜小）14：00～16：45	荒浜小（中山、矢沢）13：30～	
14	水	研・ニュースポーツ（総合体育館）科・小6「電気の利用」（15：00～16：45） ふ・保護者面談	キッズサポート（元気館；小林）13：30～	育・夜間育成（松浜P・鏡が沖P）
15	木		心の77センター運営会議（小林）10：00～	
16	金	ふ・そば打ち体験 相・いろいろ体験G小C 情・スクールオフィス指導要録（作成編）14：30～	文教経済常任委員会（所長）10：00～	
17	土			
18	日			
19	月	相・班会議		
20	火		定例教育委員会（所長）13：30～	
21	水	相・いろいろ体験G中①	教委課長会議（所長）13：30～ 要対協実務者会議（元気館；小林、矢嶋）13：30	
22	木	ふ・後期前半通級終了日 相・いろいろ体験G中②		育・昼間育成（16：00～18：00）
23	金	天皇誕生日		
24	土	冬季休業開始日		
25	日			
26	月	科・小3「磁石の秘密」（15：00～16：45） 情・デジタルビデオ編集入門（13：00～16：00）		
27	火			
28	水		キッズサポート（元気館；矢嶋）13：30～	
29	木	年末休業		
30	金			
31	土			
研・教育研究班    科・科学技術教育    相・教育相談班    ふ・ふれあいルーム    情・情報教育研修 育・育成センター    【 】は未確定の行事・時間				

# 平成23年度 柏崎市立教育センター参加・利用状況

研修講座・事業名		7月の 利用数	8月の 利用数	9月の 利用数	10月の 利用数	H23年度 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座(情報・科学を除く) *	7回 189人	17回 368人	7回 250人	2回 94人	49回 1304人	
	共催研修、研修講座	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	2回 95人	
	調査研究員会,教科研修員会	3回 3人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	5回 31人	
	教育情報化研修講座 *	12回 83人	9回 97人	4回 14人	2回 1人	44回 339人	
	情報教育主事の要請支援等	8回 25人	7回 35人	14回 128人	9回 46人	71回 696人	
	その他の相談・利用・参加数	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	1回 22人	
	教科書センター利用閲覧数	91人	12人	9人	8人	301人	
教育 研究 班・ 科学 技術 教育	理科研修講座 *	3回 40人	6回 60人	0回 0人	2回 25人	17回 191人	
	学校等の要請研修	9回 474人	1回 1人	1回 113人	1回 32人	15回 863人	
	地域の自然研修・観察会	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	3回 53人	
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)	0人	771人	2,425人	0人	5196人	
	理科教育の相談・支援	12件	5件	14件	4件	71件	
	理科教材・物品の貸出	9件	7件	10件	10件	43件	
	(教職員研修の合計)	40人	60人	2人	25人	193人	
教育 相談 班	カウンセリングルーム来室相談	新規相談件数	23件	21件	19件	15件	167件
		のべ相談件数	78件	89件	104件	83件	537件
	学校訪問相談	9回	6回	11回	7回	69回	
	電話相談	3件	1件	2件	1件	10件	
	ソーシャルスキルトレーニング	4回	4回	0回	5回	21回	
		21人	22人	0人	27人	117人	
	ふれあいルーム在籍人数	小学生	6人	7人	7人	7人	34人
		中学生	9人	9人	9人	9人	63人
	ふれあいルーム通級日数	15日	3日	20日	20日	116日	
	ふれあいルーム通級のべ人数	小学生	29人	13人	71人	68人	237人
中学生		63人	14人	86人	88人	511人	
ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)	9人	5人	13人	10人	59人		
教育団体, P T A, 市民等の利用		156人	437人	276人	237人	1963人	
<b>教育センター事業の参加・利用総数</b>		<b>1,308</b>	<b>1,959</b>	<b>3,532</b>	<b>746</b>	<b>12,816</b>	
教育センターにおける教職員研修講座 ( * 印の合計 )		22回	32回	11回	6回	110回	
		312人	525人	264人	120人	1,834人	

# 青少年のための科学の祭典

2011年11月19日(土)新潟工科大学と共催で実施しました。今回は18ブースを出店しました。いつもより新しいブースが増え、多くの親子連れが科学の楽しさやおもしろさを体験していました。



ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者  
で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方  
法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにも  
ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造  
と検証の精神が必要であるという趣旨から  
情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センター・青少年育成センターの情報  
とともに、柏崎の教育を広く発信していきま  
す。

所報「GALILEI」 平成23年11月末日発行

編集・表紙写真 中山 博迪

「ガリレイ」に関する意見・感想は、下記へ

E-mail nakayama@kenet.ed.jp



## 柏崎市立教育センター

TEL(代表) 0257-23-4591  
FAX(代表) 0257-23-4610

教育研究班・情報教育 TEL・FAX 23-1168  
教育研究班(科学技術教育) TEL 20-0212 FAX 20-0205  
教育相談班(カウンセリングルーム) TEL 32-3397  
// (電話相談) TEL 22-4115  
E-mail k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

## 柏崎市青少年育成センター

TEL(代表) 0257-20-7601  
FAX(代表) 0257-23-4610

〒 945-0833 新潟県柏崎市若葉町2 31